



日本骨髄バンクの現状（2020年3月末現在）

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,989	3,103	529,965	827,854
患者登録者数	209	237	1,929	58,954
移植例数	104	87	—	24,234

■3月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	5,004人
20代	83,186人
30代	139,211人
40代	224,281人
50代	78,283人

■3月の20歳未満の登録者 205人

■3月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,110人、献血併行型集団登録会／1,927人、集団登録会／1人、その他／65人

■3月末までの末梢血幹細胞移植〔PBSCT〕（国内ドナー）累計数：921件

■骨髄バンクを介して2回提供された方（累計数）：1,835人

■DLI〔ドナーリンパ球輸注療法〕の実施件数（累計数）：910件

■国際協力の現状（2020年1月～3月）

【海外ドナー⇒国内患者】移植数：1件〔CMDP〕、累計移植数：195件

【国内ドナー⇒海外患者】移植数：0件、累計提供数：282件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 2019年度の移植数1,232件、ドナー登録者数47,655人

■移植数

2019年度の移植数は1,232件で、前年度（1,214件）より18件増加しました。内訳は〔国内ドナー⇒国内患者〕が1,220件、海外バンクを介した〔海外ドナー⇒国内患者〕が4件、〔国内ドナー⇒海外患者〕が8件でした。そのうち、末梢血幹細胞移植は240件〔国内ドナー⇒国内患者：236件、海外ドナー⇒国内患者：4件〕で、前年度に比べ16件増加しました。患者登録者数は前年度の2,803人より20人少ない2,783人（国内2,198人、海外585人）でした。

■ドナー登録者数

ドナー登録者数は、2020年3月末現在529,965人、2019年度の新規登録者数は47,655人で前年度比1,496人減（97%）となりました。登録窓口別の内訳は、①献血併行型登録会が32,982人（前年度比7,543人増）、②日赤固定窓口（献血ルーム等）が13,106人（前年度比8,580人減）、③集団登録会が523人（前年度比53人減）でした。

今後も1人でも多くの患者さんに移植の機会を提供できるよう、一層努力してまいります。

2 令和2年度の事業計画と予算が承認

令和2年度の事業計画と予算が第16回通常理事会（3月13日開催）で承認されました。事業計画では若年層ドナー登録拡大やドナーリテンション活動等を重点目標に掲げました。予算は積立金活用を踏まえ収支相償を意識した内容としました。本年度も適切な執行に努めてまいります。



3 「ドナー休暇制度」導入、592企業・団体に

働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境作りのため、当法人では全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは592企業・団体です（4月1日現在）。ホームページにドナー休暇制度の導入企業・団体一覧を公開しています。

香川県では、ライオンズクラブ説明員やボランティアの方々のご尽力により、ライオンズクラブ加盟企業を中心に導入が進み、現在70企業・団体にご協力いただいています。

ご関心のある企業・団体へは、当法人の専門職員を派遣して導入に向けたご説明をします。これからも「ドナー休暇制度」の導入をいっそう推進してまいります。

◇お問い合わせ先：広報渉外部 ドナー休暇制度導入担当 TEL 03-5280-8111

◇HOME > 募金ご協力のお願い > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業

4 ドナー助成制度、新たに28の市町村で導入確認

新たに28の市町村で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されました。全国で663自治体になります。助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。ホームページに問い合わせ先一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ

> 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入が確認された自治体

- ・青森市、深浦町（青森県）
- ・野木町（栃木県）
- ・座間市、秦野市（神奈川県）
- ・魚沼市、柏崎市（新潟県）
- ・一宮市、田原市、美浜町（愛知県）
- ・香芝市（奈良県）
- ・佐川町、本山町（高知県）
- ・境町（茨城県）
- ・長生村、富津市（千葉県）
- ・飯田市、坂城町、豊丘村、長野市、長和町、宮田村（長野県）
- ・福井市（福井県）
- ・西宮市（兵庫県）
- ・下関市（山口県）
- ・須恵町、福岡市、行橋市（福岡県）

5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の新規認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。これにより末梢血幹細胞採取認定施設数は118施設となりました。ホームページでもご覧いただけます。

●埼玉医科大学国際医療センター

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 面談施設一覧

6 マンスリーJMDP 臨時休刊のお知らせ

4月7日、特措法に基づく7都府県対象の緊急事態宣言の発令を受け、当法人は業務に応じて交代勤務制を導入するなど、感染拡大のリスク分散を考慮した勤務体制を実施しています。これに伴い、マンスリーJMDPの発行に係る業務を縮小する必要があり、次号を臨時休刊することになりました。新型コロナウイルス関連情報につきましては、随時ホームページ等でお知らせします。

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 【安全情報】骨髄採取後、左中臀筋血腫事例

骨髄採取実施、退院後に強い痛みを感じ歩行不能となり救急外来を受診、左中臀筋に血腫を認め再入院となった事例が報告されました。情報共有の観点から報告します。詳細は別紙およびホームページをご参照ください。

◇HOME > 医師の方へ > 調整医師・採取医師の方へ > 医師宛通知文

8 末梢血幹細胞採取完了報告書の項目追加 <採取担当医師・患者主治医の方へ>

4月20日出力分より、末梢血幹細胞採取完了報告書（ハーベストレポート）に、ヘマトクリット値が項目追加となりますので、ご対応いただきますようお願いいたします。詳細は別紙およびホームページをご参照ください。

◇HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文

9 連絡事項 <コーディネーターの方へ>**■GW期間の確認検査・再検査実施とSRL予約について（再掲）****【確認検査】**

ドナーがすでにHLA（DNA）の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。

① 一般血液検査およびHLAビーズ法の場合

4/27（月）、4/28（火）は実施可

4/30（木）、5/1（金）は実施不可

② 一般血液検査のみ・確認検査再検査

4/27（月）、4/28（火）、4/30（木）、5/1（金）は実施可

【SRLの予約】

4/27（月）、4/28（火）、4/30（木）、5/1（金）の予約は4/21（火）14：00まで。

5/7（木）、5/8（金）の予約は4/23（木）14：00のハルフト送信まで。

■各種データおよびチャンスの同封について

今号では、マンスリーJMDPに毎号掲載している「コーディネーター件数（月次実績）」のほか、「コーディネーター件数（2019年度実績）」「コーディネーター期間（2019年度実績）」「終了理由別終了件数（2019年度実績）」およびチャンス改訂版（2020年4月発行）を同封しています。